

日本あちこち河川遡行記（第301回）

大阪2-3. 東除川（その2）後半 令和1年11月14日（木）曇り一時晴

〔 続き 〕

嫌な予感のする川沿いの道を進むと両側に公園が現れ、両方を繋ぐ橋も有る。先日西除川で出会った同じタイプの斜張橋と出会う。大阪狭山市はよっぽど斜張橋が好きなようだ。箱桁の大きさから推し量ると応力上はケーブルは要らないようで針金のように細いケーブルが付いている。



15.先日の西除川と同じ歩道橋が、狭山市は斜張橋がお好き

公園には上がらずそのまま進み、あらかじめグーグルの航空写真と地図で調べておいた橋を渡り対岸を進むと、なんと柵と鍵のかかった出入り口が行く手を遮る。仕方無く橋まで戻り右岸側を進むと今度は道が草茫々となっている。次の誰も利用していないような橋を渡り府の施設の裏口に来ると対岸に渡る橋の出口にこれも鍵が掛かっている。



16.左岸側を進むと通行禁止でやむなく
右岸側に戻るが



17.川沿いの道は草茫々で府の下水
処理場に上がる

入りたくもない大阪府南部の屎尿処理場の中に入り、出口を探す。この川に

せり出した台地の上にはこの屎尿処理場、大阪府南部流域下水処理場、大阪狭山市の斎場が固まり、東の谷状の川からは入れないように柵と鍵を設置している。それなら手前に「この先行き止まり！」と示してくれればよいのにといいたくなる。大きく迂回し何とか川に戻ると川幅が極端に狭くなり、水量も段違いに少ない。先ほどまでの川の流れの大半は施設での処理水だったようだ。



18.この処理場を四分の三周させられた

川はか細い流れとなり、本来は遡行対象にはならないがせっかく狭山池近くまで来たので池まで行け、行けだ！川沿いの右岸側は富田林市となり PL 病院が運行する？バス停が有る。バス会社名が無く、「サービスカー」と書かれているので無料なのだろう。



19.右岸側は富田林市で、病院行きの無料バスが有る

再び分かりにくい狭い道がマンションと病院の間をくねくねと曲がり坂道を登る。何とか狭山市道にたどり着き高野線の踏切を越える。高野線が川を越える所は橋では無く大きなパイプカルーバートが口を開けている。次の狭山中学

校に向かう橋が最後の橋なので、橋の調査はここまでとして池に直行する。

先日の西除川遡行時に池の土手から見た遊歩道の橋が目にある。池干しはまだ終わっていないようでわずかだが水が沼状に溜まっている。



20.目的地「狭山池」に到ちゃこ

21.この橋が向こうから見えていた

土手を降り最寄りの「大阪狭山市駅」に向かう。土手下の住宅街の道を南に入ると、狭山池築造 1400 年記念のマンホール蓋のカラーバージョンが有ったのでカシャ。その先には陶板で造られた「下高野街道」と書かれた古地図が道路に埋め込まれている。南を上にした川をきめ細かく描いた古地図で、右上に狭山池、そこから東西除川、左端には石川、更に外側には大和川本流の一部が挿入されている。良く出来てまんな！



22.カラーバージョンが有ったのでカシャ

23.右上の池が狭山池で東西除川と石川

直ぐに道は左に曲がり駅へと繋がる。府道との交差点角に郵便局が有るので

立ち寄りオリンピック協賛の年賀はがきを購入する。局名が「狭山半田局」とある。愛知県に半田市が有るので頭に狭山を付けている。全国ネットなので同一局名はご法度で、国鉄の駅名と同じである。

交差点を越えて南東に向かうと今度は「中高野街道」の陶板が登板しているぞ。直ぐ横の道路際には両街道の絵地図と解説が書かれた案内板が立っている下は四天王寺から、中は大阪の平野からの道でここ狭山で合体し河内長野經由で高野山に向かっていたのだ。上は無く、西（堺から）、東（京から八幡、生駒山西山麓、石川沿い）があり何れも河内長野で1本にまとまり高野山を目指していた。上高野はかつての広大な「河内湖」の存在で無かったのだろう。



24.直ぐに「中高野街道」が現れる



25.この近くで中と下が一緒になり
高野山へ

大阪狭山駅の入り口に分かり易い地図が有ったのでカシャ。これで大阪府の旧：摂津国、河内国の河川調査が終わる。今週は河内、来週は泉州である。「あんかけの時次郎」の故郷だ。

11月11日に1の揃う時刻にカシャをしたので記念に。



26.「大阪狭山市」駅から帰路に、
河内よアディオス！

令和1年11月11日11時11分
11秒だぞ

本日の歩行距離：8.8km。調査した橋の数：29。
総歩行距離：10,663.4km。総調査橋数：13,843。
使用した1/25,000地形図：「古市」（和歌山5号-4）